

保健医療分野におけるAI活用推進懇談会の開催について

開催の趣旨等

- 現在、医療等の現場においては、世界中から報告される膨大な科学的知見を評価・分析するとともに、患者等に係る大量の生体情報を把握して、患者に最適な医療や安全な医療を提供することが求められており、医療従事者等の負担は増大している。将来にわたって、国民に質の高い保健医療サービスを提供していくためには、科学技術の進歩を適切に活用し、医療等従事者を支援していくことが求められている。
- 人工知能(AI)は、ディープラーニングの登場により新たな局面を迎えた。保健医療分野におけるAI活用推進懇談会においては、AIの特性を踏まえ、その活用が患者・国民にもたらす効果を明らかにするとともに、保健医療等においてAIの導入が見込まれる領域を見据えながら、開発推進のために必要な対応およびAIを用いたサービス等の質・安全性確保のために必要な対応等を検討する。

構成員

	石川 鎮清	自治医科大学医学教育センター教授	◎ : 座長
	大江 和彦	東京大学大学院医学系研究科教授	
	奥野 恭史	京都大学大学院医学研究科教授	
	岸本 泰士郎	慶應義塾大学医学部専任講師	
	中田 典生	東京慈恵医科大学准教授	
	松尾 豊	東京大学大学院工学系研究科特任准教授	
◎	間野 博行	国立がん研究センター研究所長	
	宮田 裕章	慶應義塾大学医学部教授	
	宮野 悟	東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター長	
	村垣 善浩	東京女子医科大学先端生命医科学研究所教授	